



平成28年11月10日

各 位

会 社 名 アンドール株式会社
代表者名 代表取締役社長 和田 良明
(コード：4640東証JASDAQ)
問合せ先 管理部長 田中 定行
(TEL. 03-3243-1711)

「平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成28年11月8日付「当年度および過年度に係る決算短信の一部訂正に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、当年度および過年度の決算短信等の訂正が完了いたしましたのでお知らせいたします。
なお、訂正個所が多数に及ぶため、訂正後および訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正個所には____を付して表示しております。

以 上



(訂正後)

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場会社名 アンドール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4640 URL http://www.andor.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)笹淵裕司
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)西脇博久 TEL 03-3243-1711
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,439	10.1	140	△1.9	176	5.3	118	9.0
26年3月期第2四半期	1,306	11.0	142	10.8	167	10.7	108	20.0

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 200百万円(9.4%) 26年3月期第2四半期 183百万円(330.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	22.87	—
26年3月期第2四半期	20.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,362	1,646	69.7
26年3月期	2,209	1,461	66.1

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,646百万円 26年3月期 1,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	8.0	320	4.3	340	4.9	210	0.3	40.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期2Q	5,184,140株	26年3月期	5,184,140株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	6,244株	26年3月期	6,244株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期2Q	5,177,896株	26年3月期2Q	5,178,844株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の経済・金融政策効果による企業収益の改善や設備投資の増加等、穏やかな回復への兆しが見られたものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の減速懸念等により、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、独自のソリューションシステムで主に日本の代表的な基幹産業の自動車・重工業・精密機器や電気機器等の設計の礎となるCAD設計から、アプリケーションソフト開発、カスタマイジング、保守運用に至るまで総合エンジニアリングサービスで多様化するお客様のニーズにお応えする事業を推進しています。

当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高は1,439,044千円（前年同期比10.1%増）となり、営業利益が140,265千円（前年同期比1.9%減）、経常利益は176,386千円（前年同期比5.3%増）となりました。

法人税、住民税及び事業税56,092千円、法人税等調整額1,757千円を計上し、四半期純利益は118,405千円（前年同期比9.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は下記のようになっております。

I プロダクツ事業

自社の開発製品であるソフトウェア、附帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、2次元CADソフト「CADSUPER FXⅡ」ならびに「CADSUPER Lite」、3次元統合CADシステム「CADSUPER Works」、「シンククライアントCADシステム」に対応した製品等を主力商品として取り扱っております。

システム商品販売としては、自社開発製品をベースに他社との協業でのトータルソリューション製品の販売で、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業に努める営業を行っております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により、自社製品売上高に影響があったものの、カスタマーサポートサービスの充実、3Dプリンタを始めとした新商材の売上高が寄与したことに伴い、この事業の売上高は341,682千円（前年同期比27.5%増）となり、営業利益は89,175千円（前年同期比5.6%増）となりました。

II エンジニアリングサービス事業

企業での生産プロセス全般にわたり豊富な実務経験を持った技術者がシステムの受託開発からアウトソーシングサービス、製造分野での効率化を図るコンサルティングサービスやCADとソフトウェアの技術の利点を生かしての総合エンジニアリングサービスを行っております。

メーカー系の顧客層の設備投資は総じて堅調であったものの、慢性的な技術者不足による外注コスト増、さらに一部納期遅延発生等の影響により、この事業の売上高は1,085,753千円（前年同期比5.8%増）となり、営業利益は45,834千円（前年同期比11.7%減）となりました。

III 不動産事業

不動産の賃貸料を売上高に計上しております。

賃貸不動産物件の稼働率低下、建物修繕コストの増加等により、この事業の売上高は11,608千円（前年同期比7.0%減）となり、営業利益は5,255千円（前年同期比21.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少（522,490千円から462,279千円へ）60,210千円、その他（流動資産）の減少（23,523千円から21,023千円へ）2,500千円、のれんの減少（10,385千円から5,192千円へ）5,192千円、ソフトウェアの減少（77,272千円から56,208千円へ）21,064千円、繰延税金資産（固定資産）の減少（15,801千円から6,695千円へ）9,106千円等があったものの、現金及び預金の増加（668,999千円から710,745千円へ）41,746千円、仕掛品の増加（4,072千円から29,817千円へ）25,745千円、ソフトウェア仮勘定の増加（3,776千円から40,586千円へ）36,810千円、投資有価証券の増加（374,854千円から527,221千円へ）152,367千円等により、前連結会計年度末に比べ152,853千円増加の2,362,452千円となりました。

負債は、賞与引当金の増加（46,069千円から47,645千円へ）1,575千円、その他（流動負債）の増加（77,840千円から99,352千円へ）21,512千円、繰延税金負債（固定負債）の計上29,770千円等があったものの、支払手形及び買掛金の減少（159,894千円から118,981千円へ）40,912千円、1年内返済予定の長期借入金の減少（28,570千円から15,000千円へ）13,570千円、未払法人税等の減少（91,964千円から69,730千円へ）22,234千円、前受金の減少（72,161千円から70,319千円へ）1,841千円、長期借入金の減少（88,750千円から81,250千円へ）7,500千円等により、前連結会計年度末に比べ32,516千円減少の715,612千円となりました。

純資産は、配当金の総額15,533千円等があったものの、その他有価証券評価差額金の増加（103,805千円から

186,302千円へ) 82,497千円、四半期純利益の計上118,405千円により、前連結会計年度末に比べ185,369千円増加の1,646,839千円となり、自己資本比率は69.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に公表いたしました平成26年3月期決算短信のとおりであります。

当期の業績予想については、修正を行っておりません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来の予想に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	668,999	710,745
受取手形及び売掛金	522,490	462,279
有価証券	8,895	9,096
商品及び製品	200	200
仕掛品	4,072	29,817
貯蔵品	6,911	6,384
預け金	111,894	110,367
繰延税金資産	25,814	24,786
その他	23,523	21,023
流動資産合計	1,372,802	1,374,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	124,623	122,462
土地	189,346	189,346
その他（純額）	3,506	3,342
有形固定資産合計	317,476	315,152
無形固定資産		
のれん	10,385	5,192
ソフトウェア	77,272	56,208
ソフトウェア仮勘定	3,776	40,586
その他	3,219	3,219
無形固定資産合計	94,654	105,207
投資その他の資産		
投資有価証券	374,854	527,221
破産更生債権等	698	698
長期貸付金	290	260
繰延税金資産	15,801	6,695
その他	41,518	41,138
貸倒引当金	△8,498	△8,623
投資その他の資産合計	424,664	567,389
固定資産合計	836,796	987,749
資産合計	2,209,598	2,362,452

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,894	118,981
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	28,570	15,000
未払法人税等	91,964	69,730
前受金	72,161	70,319
賞与引当金	46,069	47,645
その他	77,840	99,352
流動負債合計	506,501	451,030
固定負債		
長期借入金	88,750	81,250
役員退職慰労引当金	8,664	10,019
退職給付に係る負債	142,468	141,701
繰延税金負債	—	29,770
その他	1,744	1,840
固定負債合計	241,627	264,582
負債合計	748,128	715,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金	857,663	960,535
自己株式	△1,888	△1,888
株主資本合計	1,357,664	1,460,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,805	186,302
その他の包括利益累計額合計	103,805	186,302
純資産合計	1,461,469	1,646,839
負債純資産合計	2,209,598	2,362,452

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,306,985	1,439,044
売上原価	960,485	1,088,512
売上総利益	346,500	350,531
販売費及び一般管理費	203,527	210,266
営業利益	142,972	140,265
営業外収益		
受取利息	304	283
受取配当金	1,861	2,697
固定資産賃貸料	390	702
持分法による投資利益	23,157	32,717
雑収入	148	836
営業外収益合計	25,862	37,237
営業外費用		
支払利息	1,357	902
貸倒引当金繰入額	—	125
雑損失	19	88
営業外費用合計	1,376	1,115
経常利益	167,458	176,386
特別利益		
投資有価証券売却益	6,676	62
特別利益合計	6,676	62
特別損失		
投資有価証券売却損	—	193
特別損失合計	—	193
税金等調整前四半期純利益	174,135	176,255
法人税、住民税及び事業税	66,304	56,092
法人税等調整額	△822	1,757
法人税等合計	65,481	57,849
少数株主損益調整前四半期純利益	108,653	118,405
四半期純利益	108,653	118,405

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	108,653	118,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74,559	82,864
持分法適用会社に対する持分相当額	437	△367
その他の包括利益合計	74,997	82,497
四半期包括利益	183,650	200,903
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183,650	200,903
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	174,135	176,255
減価償却費	24,654	24,042
のれん償却額	5,192	5,192
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	125
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△505	1,355
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,324	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△767
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,744	1,575
受取利息及び受取配当金	△2,166	△2,980
支払利息	1,357	902
持分法による投資損益(△は益)	△23,157	△32,717
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,676	131
売上債権の増減額(△は増加)	42,384	60,210
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,522	△25,218
仕入債務の増減額(△は減少)	△49,732	△42,095
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,102	19,822
その他の資産の増減額(△は増加)	△32,929	4,186
その他の負債の増減額(△は減少)	△15,330	△628
小計	118,670	189,393
利息及び配当金の受取額	4,176	5,995
利息の支払額	△1,593	△902
法人税等の支払額	△95,800	△78,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,452	116,160
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△947	△607
無形固定資産の取得による支出	△30,131	△35,628
投資有価証券の取得による支出	△5,059	△3,561
投資有価証券の売却による収入	23,562	1,410
貸付金の回収による収入	30	30
その他の支出	△337	△5,119
その他の収入	2,629	5,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,253	△38,039
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△31,090	△21,070
自己株式の取得による支出	△846	—
配当金の支払額	△15,297	△15,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,233	△36,172
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△32,035	41,947
現金及び現金同等物の期首残高	627,565	677,894
現金及び現金同等物の四半期末残高	595,529	719,842

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	267,899	1,026,604	12,480	1,306,985	1,306,985
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	267,899	1,026,604	12,480	1,306,985	1,306,985
セグメント利益	84,408	51,905	6,658	142,972	142,972

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	341,682	1,085,753	11,608	1,439,044	1,439,044
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	341,682	1,085,753	11,608	1,439,044	1,439,044
セグメント利益	89,175	45,834	5,255	140,265	140,265

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。



(訂正前)

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場会社名 アンドール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4640 URL http://www.andor.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)笹淵裕司
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)西脇博久 TEL 03-3243-1711
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,439	10.1	140	△1.9	176	5.3	119	7.6
26年3月期第2四半期	1,306	11.0	142	10.8	167	10.7	110	19.7

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 201百万円 (8.6%) 26年3月期第2四半期 185百万円 (316.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	22.99	—
26年3月期第2四半期	21.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,362	1,660	70.3
26年3月期	2,209	1,474	66.7

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,660百万円 26年3月期 1,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	8.0	320	4.3	340	4.9	210	0.3	40.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期2Q	5,184,140株	26年3月期	5,184,140株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	6,244株	26年3月期	6,244株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期2Q	5,177,896株	26年3月期2Q	5,178,844株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の経済・金融政策効果による企業収益の改善や設備投資の増加等、穏やかな回復への兆しが見られたものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の減速懸念等により、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、独自のソリューションシステムで主に日本の代表的な基幹産業の自動車・重工業・精密機器や電気機器等の設計の礎となるCAD設計から、アプリケーションソフト開発、カスタマイジング、保守運用に至るまで総合エンジニアリングサービスで多様化するお客様のニーズにお応えする事業を推進しています。

当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高は1,439,044千円（前年同期比10.1%増）となり、営業利益が140,265千円（前年同期比1.9%減）、経常利益は176,386千円（前年同期比5.3%増）となりました。

法人税、住民税及び事業税55,478千円、法人税等調整額1,757千円を計上し、四半期純利益は119,019千円（前年同期比7.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は下記のようになっております。

I プロダクツ事業

自社の開発製品であるソフトウェア、附帯するハードウェア機器を販売し、導入・保守・運用を行っております。

パッケージソフト開発・販売としては、2次元CADソフト「CADSUPER FXⅡ」ならびに「CADSUPER Lite」、3次元統合CADシステム「CADSUPER Works」、「シンククライアントCADシステム」に対応した製品等を主力商品として取り扱っております。

システム商品販売としては、自社開発製品をベースに他社との協業でのトータルソリューション製品の販売で、お客様のニーズに適合するシステムを提供することによりお客様指向、問題解決指向型の提案営業に努める営業を行っております。

導入運用サービスとしては、自社製品販売に伴う導入・保守・運用・サポート収入が主体であります。

消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により、自社製品売上高に影響があったものの、カスタマーサポートサービスの充実、3Dプリンタを始めとした新商材の売上高が寄与したことに伴い、この事業の売上高は341,682千円（前年同期比27.5%増）となり、営業利益は89,175千円（前年同期比5.6%増）となりました。

II エンジニアリングサービス事業

企業での生産プロセス全般にわたり豊富な実務経験を持った技術者がシステムの受託開発からアウトソーシングサービス、製造分野での効率化を図るコンサルティングサービスやCADとソフトウェアの技術の利点を生かしての総合エンジニアリングサービスを行っております。

メーカー系の顧客層の設備投資は総じて堅調であったものの、慢性的な技術者不足による外注コスト増、さらに一部納期遅延発生等の影響により、この事業の売上高は1,085,753千円（前年同期比5.8%増）となり、営業利益は45,834千円（前年同期比11.7%減）となりました。

III 不動産事業

不動産の賃貸料を売上高に計上しております。

賃貸不動産物件の稼働率低下、建物修繕コストの増加等により、この事業の売上高は11,608千円（前年同期比7.0%減）となり、営業利益は5,255千円（前年同期比21.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少（522,490千円から462,279千円へ）60,210千円、その他（流動資産）の減少（23,523千円から21,023千円へ）2,500千円、のれんの減少（10,385千円から5,192千円へ）5,192千円、ソフトウェアの減少（77,272千円から56,208千円へ）21,064千円、繰延税金資産（固定資産）の減少（15,801千円から6,695千円へ）9,106千円等があったものの、現金及び預金の増加（668,999千円から710,745千円へ）41,746千円、仕掛品の増加（4,072千円から29,817千円へ）25,745千円、ソフトウェア仮勘定の増加（3,776千円から40,586千円へ）36,810千円、投資有価証券の増加（374,854千円から527,221千円へ）152,367千円等により、前連結会計年度末に比べ152,853千円増加の2,362,452千円となりました。

負債は、賞与引当金の増加（46,069千円から47,645千円へ）1,575千円、その他（流動負債）の増加（77,840千円から99,352千円へ）21,512千円、繰延税金負債（固定負債）の計上29,770千円等があったものの、支払手形及び買掛金の減少（159,894千円から118,981千円へ）40,912千円、1年内返済予定の長期借入金の減少（28,570千円から15,000千円へ）13,570千円、未払法人税等の減少（79,316千円から56,467千円へ）22,848千円、前受金の減少（72,161千円から70,319千円へ）1,841千円、長期借入金の減少（88,750千円から81,250千円へ）7,500千円等により、前連結会計年度末に比べ33,130千円減少の702,349千円となりました。

純資産は、配当金の総額15,533千円等があったものの、その他有価証券評価差額金の増加（103,805千円から

186,302千円へ) 82,497千円、四半期純利益の計上119,019千円により、前連結会計年度末に比べ185,983千円増加の1,660,102千円となり、自己資本比率は70.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に公表いたしました平成26年3月期決算短信のとおりであります。

当期の業績予想については、修正を行っておりません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来の予想に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	668,999	710,745
受取手形及び売掛金	522,490	462,279
有価証券	8,895	9,096
商品及び製品	200	200
仕掛品	4,072	29,817
貯蔵品	6,911	6,384
預け金	111,894	110,367
繰延税金資産	25,814	24,786
その他	23,523	21,023
流動資産合計	1,372,802	1,374,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	124,623	122,462
土地	189,346	189,346
その他（純額）	3,506	3,342
有形固定資産合計	317,476	315,152
無形固定資産		
のれん	10,385	5,192
ソフトウェア	77,272	56,208
ソフトウェア仮勘定	3,776	40,586
その他	3,219	3,219
無形固定資産合計	94,654	105,207
投資その他の資産		
投資有価証券	374,854	527,221
破産更生債権等	698	698
長期貸付金	290	260
繰延税金資産	15,801	6,695
その他	41,518	41,138
貸倒引当金	△8,498	△8,623
投資その他の資産合計	424,664	567,389
固定資産合計	836,796	987,749
資産合計	2,209,598	2,362,452

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,894	118,981
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	28,570	15,000
未払法人税等	79,316	56,467
前受金	72,161	70,319
賞与引当金	46,069	47,645
その他	77,840	99,352
流動負債合計	493,852	437,767
固定負債		
長期借入金	88,750	81,250
役員退職慰労引当金	8,664	10,019
退職給付に係る負債	142,468	141,701
繰延税金負債	—	29,770
その他	1,744	1,840
固定負債合計	241,627	264,582
負債合計	735,480	702,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,889	501,889
利益剰余金	870,312	973,798
自己株式	△1,888	△1,888
株主資本合計	1,370,313	1,473,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,805	186,302
その他の包括利益累計額合計	103,805	186,302
純資産合計	1,474,118	1,660,102
負債純資産合計	2,209,598	2,362,452

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,306,985	1,439,044
売上原価	960,485	1,088,512
売上総利益	346,500	350,531
販売費及び一般管理費	203,527	210,266
営業利益	142,972	140,265
営業外収益		
受取利息	304	283
受取配当金	1,861	2,697
固定資産賃貸料	390	702
持分法による投資利益	23,157	32,717
雑収入	148	836
営業外収益合計	25,862	37,237
営業外費用		
支払利息	1,357	902
貸倒引当金繰入額	—	125
雑損失	19	88
営業外費用合計	1,376	1,115
経常利益	167,458	176,386
特別利益		
投資有価証券売却益	6,676	62
特別利益合計	6,676	62
特別損失		
投資有価証券売却損	—	193
特別損失合計	—	193
税金等調整前四半期純利益	174,135	176,255
法人税、住民税及び事業税	64,316	55,478
法人税等調整額	△822	1,757
法人税等合計	63,493	57,235
少数株主損益調整前四半期純利益	110,641	119,019
四半期純利益	110,641	119,019

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	110,641	119,019
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74,559	82,864
持分法適用会社に対する持分相当額	437	△367
その他の包括利益合計	74,997	82,497
四半期包括利益	185,638	201,517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	185,638	201,517
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	174,135	176,255
減価償却費	24,654	24,042
のれん償却額	5,192	5,192
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	125
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△505	1,355
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,324	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△767
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,744	1,575
受取利息及び受取配当金	△2,166	△2,980
支払利息	1,357	902
持分法による投資損益(△は益)	△23,157	△32,717
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,676	131
売上債権の増減額(△は増加)	42,384	60,210
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,522	△25,218
仕入債務の増減額(△は減少)	△49,732	△42,095
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,102	19,822
その他の資産の増減額(△は増加)	△32,929	4,186
その他の負債の増減額(△は減少)	△15,330	△628
小計	118,670	189,393
利息及び配当金の受取額	4,176	5,995
利息の支払額	△1,593	△902
法人税等の支払額	△95,800	△78,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,452	116,160
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△947	△607
無形固定資産の取得による支出	△30,131	△35,628
投資有価証券の取得による支出	△5,059	△3,561
投資有価証券の売却による収入	23,562	1,410
貸付金の回収による収入	30	30
その他の支出	△337	△5,119
その他の収入	2,629	5,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,253	△38,039
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△31,090	△21,070
自己株式の取得による支出	△846	—
配当金の支払額	△15,297	△15,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,233	△36,172
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△32,035	41,947
現金及び現金同等物の期首残高	627,565	677,894
現金及び現金同等物の四半期末残高	595,529	719,842

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	267,899	1,026,604	12,480	1,306,985	1,306,985
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	267,899	1,026,604	12,480	1,306,985	1,306,985
セグメント利益	84,408	51,905	6,658	142,972	142,972

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロダクツ事業	エンジニアリングサービス事業	不動産事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	341,682	1,085,753	11,608	1,439,044	1,439,044
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	341,682	1,085,753	11,608	1,439,044	1,439,044
セグメント利益	89,175	45,834	5,255	140,265	140,265

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。